

令和8年9月30日

報道機関各位

まちなか未来学校について

産業経済部商工労働課

公共空間の活用や継続的なエリアマネジメントを可能とする仕組みとして、都市再生特別措置法に基づく「都市再生推進法人」制度の意義と全国での実例を学び、伊勢崎市におけるまちなか再生の担い手のあり方への理解を深めるため、下記のとおり令和8年度第4回まちなか未来学校「まちなか再生の担い手について考える」を開校します。

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 日 時 | 令和8年10月13日（火）午後6時～午後8時 |
| 2 | 場 所 | くわまるプラザ（保健センター）1階会議室 |
| 3 | 講 師 | 遠藤 翼 氏（合同会社Walk Works 代表）
聞き手 臂 徹 氏（マチビトキタルプロジェクトチーム） |
| 4 | 主 催 | 伊勢崎市まちなか活性化支援会議
※協 力 都市計画部都市計画課（都市再生推進法人制度について） |
| 5 | 共 催 | マチビトキタルプロジェクトチーム
※国土交通省「官民連携都市再生推進事業／普及啓発事業」 |
| 6 | 参 加 | 別添チラシの申込用QRコードよりお申し込みください |



問い合わせ先	商工労働課	石原	TEL0270-27-8807 内線 3202
--------	-------	----	----------------------------

令和8年度 第4回 まちなか未来学校

まちなか再生の 担い手 について考える

2026.10/13(tue) 18:00-20:00

会場 くわまるプラザ(保健センター)会議室
伊勢崎市大手町18番1号

官民連携、官民協働、民間主体、民間主導、行政主導などなど、まちづくりを進めていくための関わり方や姿勢をあらわす様々な言葉があります。
公私空間が相交わる「まちなか」は、公共空間をみんなが使いやすい場所にしたり、私的空間を少しだけ外に開いたり、少しの工夫でもっと面白い「場所」に育っていくはずです。
今回のまちなか未来学校では「官民連携」をただの飾り言葉にせず、事例や制度について理解を深め、伊勢崎のまちなか再生に活かしていく機会にしたいと考えています。

タイムテーブル

18:00 趣旨説明と案内

18:10 講演

アーバンistが地域を開く
遊覧船の船頭 兼 焼き芋職人
兼 都市計画プランナーの仕事術

18:45 トークセッション
担い手を支える制度・仕組みについて

19:30 質疑応答

講師プロフィール



遠藤 翼

合同会社Walk Works 代表
マチビトキタルプロジェクトチーム

まちづくり支援/シェアキッチン運営/焼き芋屋/SUPツアー
ガイド/遊覧船船頭

大学卒業後、都市計画コンサルティング会社で都市計画の策定支援やエリアマネジメント導入支援を担当。2016年より公民学連携のまちづくり拠点・柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)にてコミュニティ担当ディレクターを務めたのち、栃木県栃木市に移住。2019年に合同会社Walk Worksを設立。

聞き手 臂 徹

マチビトキタルプロジェクトチーム

伊勢崎市出身。岩手県盛岡市、大船渡市、埼玉県熊谷市、島根県隠岐の島町、熊本県荒尾市、愛媛県今治市などで都市再生やまちなか再生を手掛ける。

主催 伊勢崎市まちなか活性化支援会議 共催 マチビトキタルプロジェクトチーム

問い合わせ 伊勢崎市産業経済部商工労働課 まちなか活性化係 0270-27-8807

●本事業は国土交通省「官民連携都市再生推進事業／普及啓発事業」の一環で実施されています

申込用QR

